

## 農業農村工学会北海道支部協力講演会

### AIを用いた統合型グローバル生態系サービスモデルの開発

#### セミナー in 札幌

日時：平成30年12月6日(木)PM15:00~17:00

場所：北海道大学農学部 S11 教室

共催：名古屋大学未来材料・システム研究所林研究室、K. Lab Japan  
農業農村工学会北海道支部

K. Lab Japan:名古屋大学、国立環境研究所、大阪大学、中部大学、東京農業大学等のメンバーで構成されるK. Labの日本の事例研究を進める研究会

#### 概要

セマンティックやオントロジー等のAI(人工知能)を用いた統合型のグローバル生態系サービスモデルを開発しているスペイン BC3(Basque Centre for Climate Change)のFerdinando Villa 教授をお招きし、統合型グローバル生態系サービスモデルの2018年10月 updateの最新状況の講演をいただく。本モデルは、世界各地において各種の生態系サービスの空間評価を様々な空間分析スケールで実施可能なものであり、応用性が高い。

新バージョンは、世界中どこでも好きな場所の画面を開くと(解像度は自動で選定)、推計したい生態系サービスのモデルがリストされ、それを選択すると、自動でマップ上に結果が表示される。自動判断はAIで行っている。

#### スケジュール

講演：Ferdinando Villa 教授 (BC3、名古屋大学客員教授)

タイトル「セマンティックとオントロジーのAIを用いた統合型グローバル生態系サービスモデルの開発(仮)」

話題提供1：林希一郎(名古屋大学教授)

タイトル「K. Labを活用した日本での事例研究」

話題提供2：岡澤宏(東京農業大学教授)

タイトル「水文解析分野におけるK. Labの活用」

本研究会は、名古屋大学未来材料・システム研究所のH30年度萌芽的共創研究の資金を活用しています。

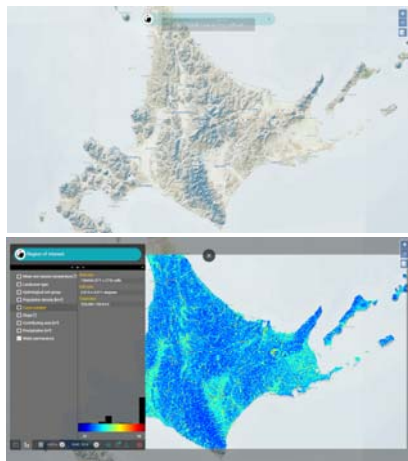
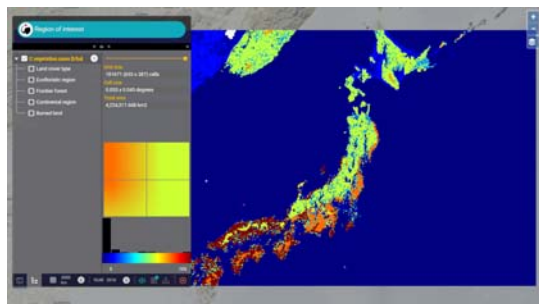
1

北海道大学 web site <https://www.agr.hokudai.ac.jp/i/access>

会場：北海道大学農学部 S11 教室 (正面玄関を入れて左側の建物1F)



2



3